

# 令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名	加古川市立若宮小学校
-----	------------

**1 教育目標** 「わかちあい かんがえて みつけて やってみよう」

**2 基本方針**

- ・考えて、行動しよう【主体的に行動する力】
- ・自分も相手も大切にしよう【自由(権利)を相互承認する力】
- ・自分の「好き」を見つけよう【価値を創造する力】

**3 指導目標**

- ・子どもの主体性を引き出し、当事者意識を育てる支援
- ・児童の発達段階や特性に合わせ、主体的な行動から価値観を見つける支援
- ・教職員も子どもたちも当事者意識をもって学校運営に参画し、主体性を発揮できる学校づくり

### 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
子どもたちの学びを支える 学習支援の充実	学ぶ意欲を育むための教師による、授業の構想、学習方法、指導方法、言葉かけなどの児童への意図的な働きかけが効果的に行えた。	A	・目指す子どもの姿を教職員で共有する。
考えて行動できる力の育成 をめざす人権教育の推進	日頃から、お互いを認め合うあたたかい人間関係づくりや学級づくりに努めるとともに、わかみや人権週間などの取組を充実させた。	A	・多様性を認め合う社会の実現に向けた学習や実践を行う。
多様な教育ニーズの対応と 包摂性のある教育の推進	児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行った。	B	・支援シートの活用や情報共有を密に行うなどして支援を行う。
主体的、実践的な態度の育成、 主権者意識の醸成	学級での係・当番活動や委員会・クラブ・児童会などの特別活動において、児童の考えや意見を取り入れるなど、児童が主体的に取り組むことができる活動になるように工夫した。	B	・活動の目的や意義を児童に明確に伝え、児童自らがその重要性に気づき発信していくことができるような体制を整える。
地域総がかりの教育の推進	・学校支援ボランティアの方々およびPTA等の協力により、コミュニティスクールとして、家庭・地域と連携した活動ができた。 ・地域人材(外部講師)や学校外施設の利活用により、子どもたちが体験的に学ぶことができるよう工夫した。	A	・保護者や地域の方々の来校の機会を確保する。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
・落ち着いた環境の中で、学習活動が行われていると感じる。 ・いいねニュースの取り組みがよい。	A
・いいねの木で友達の良いところを見つける活動が素晴らしい。 ・相手を思いやる気持ちが育っている。	A
・インクルーシブ教育をさらに推進していく必要がある。 ・児童の情報共有を通じて、支援シート等が作成されている。	B
・しっかりとした行動ができている。大人でもできないような行動もできている。 ・子どもたちの意見が尊重されている。	B
・世代間の交流がよく行われている。 ・さつまいもの植え付け、収穫体験の交流において、児童が生き生きと活動している姿に喜びを感じた。	A